

親子入院（Parent-child hospitalization）

就学前のお子さんと保護者が一緒に入院しながらお子さんの成長・発達に合わせて運動機能や日常生活動作の習得に向けて診察、療育、訓練、保育などのスケジュールに沿って生活をします。また、地域の関係機関（通園・保育所・幼稚園など）とも連携しながらお子さんと保護者の方々が自宅へ戻ってからも必要な療育が継続されるようサポートさせていただいております。

※就学後のお子さまも対象になる場合があります。

◆日常生活の相談

カロリーは足りているか	食べ方を見てほしい	便秘がひどい	お尻ふきができない	場面の切り替えができない
偏食について相談したい	食事中に立ってしまう	オムツを外したい	トイレトレーニングの方法を知りたい	待つことができない
ミルクをやめたい	着替えができない	早く寝てくれない	夜中に起きてしまう	午睡のリズムがとれない

◆入院の種類

一般親子入院（2～3週間）：肢体不自由児

短期親子入院 {
ダウン症児（4泊5日）
自閉症[※]・外傷・ADHDなどの神経発達症児（4泊5日）
肢体不自由児パラスポーツ体験（3泊4日）

歯科治療親子入院（2泊3日）：肢体不自由児、神経発達症児など

食堂



看護師が食堂にて、食べ方や姿勢、食具の持ち方、介助の方法など、お子さんの発達に合わせて必要な関わり方をお伝えします。必要に応じ多職種と共に口腔機能評価を行います。

看護師がお子さんに合わせたトイレトレーニングの関わり方を一緒に実践し自宅での継続や自立に向けてサポートをしています。



トイレ

居室



1組1室のお部屋はプライベートスペースとしてご利用ください。看護師が着替えや整容、歯磨きなど、お子さんの自立に向けたサポートをしています。